



## I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	バイオガス発電プロジェクト	実施中

プロジェクト No.1	バイオガス発電プロジェクト		
実施主体	音更町農業協同組合		
利用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	プラントメーカー	株式会社土谷特殊農機具製作所	
	設計・施工業者	株式会社土谷特殊農機具製作所	
概要	音更町農業協同組合において、家畜ふん尿や、野菜の規格外品の処理を目的として、2015年にバイオガスプラントを導入し、2016年から稼働している。バイオガスで発電を行うとともに、生成された液肥を有機肥料として土壌改良に活用している。		
内容	項目	計画値	実績値 (2023年度)
	原料：乳牛のふん尿 利用量(t/年)	11,153	11,078
	原料：野菜残渣 利用量(t/年)	1,840	1,943
	発電量(kwh/年)	846,160	771,604
	FIT/FIPの適用	☑FIT ☐FIP ☐FIT/FIP適用外	
	バイオ液肥生産量(t/年)	17,600	22779



JAおとふけバイオガスプラント(<https://www.ja-otofuke.jp/img/facility/guide7.pdf>)

## II 脱炭素化の取組状況や取組方針

### II-1 地域における脱炭素に関する計画

計画名称等	策定年度 (選定年度)
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	<b>2022年度</b> <a href="https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/kankyo/r5_zikkoukeikaku.html">https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/kankyo/r5_zikkoukeikaku.html</a>
ゼロカーボンシティ宣言	<b>2021年度</b> <a href="https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/kankyo/otozeroco2.html">https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/kankyo/otozeroco2.html</a>

### II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

脱炭素に向けた取り組みの一環として、町民や町内事業者に対する補助金事業を実施している。対象機器は、太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車、V2H充電設備、ガスコージェネレーションシステム（エネファーム、コレモ）、高効率給湯機（エコジョーズ、エコキュート、エコフィール）、堆肥化等設備（生ごみ処理機、コンポスター）。

また、2024年度からは、家庭や事業所における省エネを促進するため、町民や町内事業者の省エネ行動に対してポイントを付与する事業を行っている。

#### 温室効果ガス排出量

令和5年度の温室効果ガスの総排出量は、基準年度である平成25年度と比較して、24.08%(2,472,531kg)の削減となった。温室効果ガス総排出量のうち99.86%を占めている二酸化炭素の排出量は、基準年度と比較して24.12%の削減となった。

#### 【温室効果ガス排出量】

(排出量単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガスの種類	平成25年度 (基準年度)	令和5年度	増減(%)	令和12年度の 目標削減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	10,260,394	7,785,964	△ 24.12	H25比 50%削減
メタン (CH <sub>4</sub> )	1,865	1,857	△ 0.43	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	5,158	7,569	46.74	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,677	1,173	△ 30.05	
総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	10,269,094	7,796,563	△ 24.08	

### II-3 地域レジリエンス対応の取組や新たな計画

公共施設の長寿命化改修のタイミングにおける、再エネ設備導入の検討。